

■参列人員の算定

基本計画より、1会葬当たりの会葬者数：50人に対応した空間とします。



■お別れ室

お別れ室は、故人をお見送りするにあたり荘厳かつ温かみのある雰囲気が求められます。そうした雰囲気を、上部から柔らかく差し込む明かりや、自然素材を基本とした内装材等により実現します。また、会葬者の並びの向きが異なる告別・収骨それぞれに対応可能なしつらえとします。

【規模計画】

- ・会葬者のうち、最大50人ほどがお別れ室で見送り・収骨を行うと想定します。
- ・50人を超える場合はお別れ室前のホールを利用できる計画とし、大きな引戸で空間が連続するよう計画します。

【仕上げ計画】

- ・床：石張り（花崗岩）
…荘厳なしつらえと、台車及び運搬車の重量に対応する強度
- ・壁：左官仕上げ、木ルーバー
- ・天井：左官仕上げ
…荘厳さと温かみ、やすらぎが共存する仕上げ



■待合ロビー、待合室

待合ロビー・待合室は、故人の思い出を語り合う場として、ほかの空間と違い、日常に近いしつらえであることが求められます。

待合室は、様々な方の利用を想定し、椅子と床座（畳敷き）の両方を設けます。

待合ロビーは、待合室から一息つく場合や個別の談話を行える場として、待ち時間を多様に過ごせるように計画します。待合ロビーからは、外のテラスや庭に出られるよう計画します。

【規模計画】

- ・1会葬当たりの会葬者数は50人と設定します。
- ・待合ロビー：32人が座れる規模とします。
- ・待合室36人+和室6畳（4~8人）が座れる規模を2室とします。

【仕上げ計画（待合ロビー）】

- ・床：タイル張り …火葬部門と待合部門をつなぐ
- ・壁：左官仕上げ
- ・天井：杉板張り …温かみ、やすらぎを重視した仕上げ

【仕上げ計画（待合室）】

- ・床：フローリング、畳 …火葬部門と雰囲気を変え、温かみを重視
- ・壁：左官仕上げ
- ・天井：杉板張り …温かみ、やすらぎを重視した仕上げ

■エンタランスホール

会葬者と棺を最初に迎え入れるエンタランスホールは、荘厳さと静謐さが求められます。それらを、上部から柔らかく差し込む明かりや、絞られた開口から垣間見える景色、自然素材を基本とした内装材等により実現します。

【仕上げ計画】

- ・床：石張り（花崗岩）
…荘厳なしつらえと、棺及び運搬車の重量に対応する強度
- ・壁：左官仕上げ、杉板型枠コンクリート打放し
- ・天井：木ルーバー
…荘厳さと温かみ、やすらぎが共存する仕上げ

